

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
代表者名 代表取締役社長 福島 秀治
(コード番号: 8732 東証プライム市場)
問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄
(TEL. 03-4540-3804)

2023年3月期連結業績速報値に関するお知らせ

2023年3月期決算短信(連結)につきましては、4月28日に開示の予定ですが、速報値を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期の連結業績速報値(2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2023年3月期(速報値)	5,819	1,306	1,292	793
2022年3月期(実績)	5,323	956	997	736
増減率(%)	9.3	36.6	29.6	7.8

当社グループは、金融商品取引業(外国為替証拠金取引業)を営んでおり、当社グループの業績は相場動向や市場流動性等のマーケット環境並びに国内及び海外の経済環境等からの影響を大きく受け予測が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

上記の速報値につきましては、現時点で当社が合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は速報値と異なる可能性があります。

2. 前期実績と当期速報値との差異の理由

2022年2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、外国為替相場の変動率が非常に高い水準となったことや、スプレッドの縮小を更に推し進めるなどの施策により、外国為替取引高が前期比39.8%増加したこと等によりトレーディング損益が前期比508百万円増加(10.0%増)し、営業収益は5,819百万円(前期比496百万円増加、9.3%増)となりました。金融費用は138百万円(同6百万円減少、4.1%減)、売上原価は112百万円(同35百万円減少、23.9%減)となりました。販売費・一般管理費は、減価償却費が減少したことに加え、営業上の施策効果によるお客様の取引状況などを勘案しつつ広告宣伝費の費用対効果に注力したこと等により広告宣伝費が減少した一方、取引高増加に伴うカバー取引関連の支払手数料が増加したことに加え、将来的なコスト削減等を目的とした基幹システムのクラウド化に向けた費用として器具・備品費や事務委託費が増加したこと等から4,261百万円(同187百万円増加、4.6%増)となりました。これらの結果、営業利益は1,306百万円(同350百万円増加、36.6%増)、経常利益は1,292百万円(同294百万円増加、29.6%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、3月31日公表の連結子会社の資金移動業の廃止に伴う費用の一部として、事業撤退損失引当金繰入額106百万円及び当該事業に係るソフトウェア等の減損損失38百万円、合計145百万円を特別損失に計上したことや、法人税等合計が353百万円(同71百万円増加、25.5%増)となったことから、793百万円(同57百万円増加、7.8%増)となりました。

以 上